



# ①人と川とのかかわりについて調べよう

The History of the river and its Surrounding

—水環境調査プログラム—

## この活動のねらい

昔の地形図と今の地形図を比べて、川が流れている場所やそのまわりの土地利用のちがいをから、わたしたちが住んでいる地域の川はどのように変わってきたのかを調べてみましょう。この活動によって、洪水を防ぐため工事によって流れが変わった川のように、田畑や雑木林が人家に変わったことなどを知り、人と川とのかかわり、人と自然とのかかわりについて考えましょう。

このプログラムは、川での環境学習の導入として取り組んでみましょう。

## 昔の地図について

- ・迅速測図…明治時代に陸軍が、日本ではじめて正確に測量をしてつくった地図です（江戸時代に伊能忠敬がつくった大日本地図は、海岸線を測量しただけのもの）。これは、現在の地形図とはちがいで、等高線で地形を表さず「田」「草」など文字や色などで土地の使い方が表されています。ただし、つくっていない地域もあるので、国土地理院にたずねてみましょう。
- ・地形図…等高線を使って地形を表したり、地図記号で土地の使い方を表しています。昔の地形図については、市町村役場や図書館などにたずねてみましょう。古くは、明治時代のものもあります。地図と測量の科学館（国土地理院）で売っています。

## 調べ方

### 準備するもの

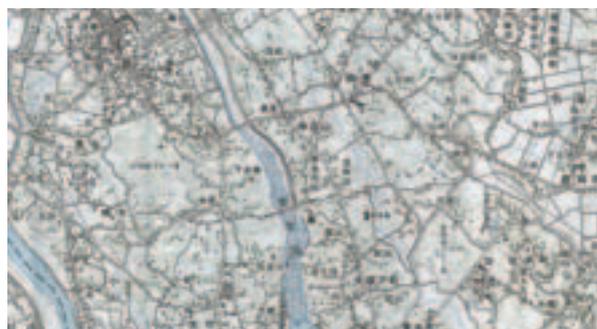
・今の地形図

・昔の地形図

### 1 川のまわりの土地利用を調べる。

今の地形図をもとに、川のまわりの土地がどのように利用されているかを実際に川原を歩きながら調べましょう。

また、田んぼ、畑、住宅、休耕田、工場などそれぞれの土地の利用方法によって記号を決めておくと、歩きながら記録しやすいです。



博物館周辺の土地利用がわかります。  
(国土地理院発行5万分の1地形図「水海道」を使用)

田	広葉樹林
畑	針葉樹林
果樹園	水田
森林	竹林
牧場	しのない
その他の樹木林	やし科等樹林
	荒地

記号の例



## 2 昔の地形図と今の地形図を比べる。

昔の地形図と今の地形図を比べて、川が流れている場所やそのまわりの土地の利用方法にちがいがあるかを調べましょう。地形図には地図記号があり、どのような土地利用をしていたかが分かります。



**迅速測図**（明治16年の猿島町沓掛付近）  
（陸地測量部発行2万分の1迅速測図 茨城県下総國猿島郡沓掛村岡田郡崎房村 国土地理院を使用）



**地形図**（平成7年の猿島町沓掛付近）  
（国土地理院発行5万分の1地形図「水海道」を使用）

## 3 川が流れている場所が変わった理由やどのように土地を利用していたのかなどを調べる。

### ① 川が流れている場所が変わっているところ

市町村役場やその川を管理している土木事務所や地元のお年寄りから、どんな目的で工事が行われたのかを聞きましょう。また、それが洪水を防ぐための工事なら、洪水の歴史についても調べてみましょう。

### ② 土地利用が変わったところ

地元のお年寄りから、川をどう利用して暮らしていたのか、昔の人が川でどんな遊びをしていたのか、川岸にはどんな植物が生えていたのかなどを聞きましょう。

## 4 昔と今の変化をまとめて、人と川とのかかわり方について考える。

- ・ どうして川の工事をするのでしょう。
- ・ 川が人の暮らしにどんな役に立っているのでしょうか。
- ・ 洪水の記録や川の工事の記録などをまとめて、年表をつくってみましょう。
- ・ 土地利用の方法が変わって、人の暮らしはどんなことが便利になり、どんなことが悪くなったかを考えましょう。

## 地図が購入できる施設

地図と測量の科学館（国土地理院）茨城県つくば市北郷1番 029-864-1872

## 参考となる資料

環境省総合環境政策局環境教育推進室. 2001. 『環境学習』 2001年号. (社)環境情報科学センター.

【宮崎】